

ジャン・ミノコの

The agricultural lecture
by Jan Minoco



にしみの 農業ドリル



みんな元気?管内では、甘くておいしい柿が作られているんだ。今回は、管内で作られる柿について調べるために、
海津市南濃町に行ってきましたよ!

にしみのの甘~い柿はどんなところで作っているの?

どこで、どのように作っているの?

- 管内では、海津市南濃町・養老町で柿を作っているんだ。
- 管内の柿は、すべて露地栽培なんだ。



おし教えてくれるのは…

南濃柿部会 古川信二 部会長

わたしの部会では、119人の部会員が、約23%のほ場で栽培し、東京市場へ出荷しているんだ。甘くておいしい柿をみんなに食べてもらいたいから、摘ライ(つぼみを間引く作業)や摘果作業などをしっかり行っているよ。

どんな品種を作っているの?

- 西村早生 ○早生富有
- 富有 ○陽豊

の4種類を栽培しているよ。これらは、すべて「甘柿」で、熟した実はとても甘くておいしいんだ。もっとも多く出荷されているのは「富有」で、管内の甘柿出荷量の約8割を占めているよ。

出荷時期はいつ?

- 西村早生⇒9月下旬
- 早生富有⇒10月下旬
- 富有・陽豊⇒11月上旬~12月中旬



赤く熟したら収穫のサイン。

昔から伝わる栽培の知恵

- 柿のほ場には、出荷する品種の柿のほか、受粉をするためだけに、違う品種の柿を植えているよ。違う品種の柿を交配させることで、よりおいしい柿が作れるんだって。昔から行われている栽培方法だよ。



甘柿はこれからが旬。みんなも、甘くておいしい柿をたくさん食べて、秋を感じてみてはいかが?